

日本民俗学会 第76回年会（於・東京都）

第2回 サーキュラー

日本民俗学会第76回年会は、311名の参加申し込み、143名の発表申し込みをいただきました。

年会の詳細が決まりましたので、第2回サーキュラーをお届けいたします。つきましては、参加費等のお振り込みや発表要旨のご提出など、期日までのお手続きを何卒よろしくお願い申し上げます。

第2回以降のサーキュラーは、7月5日（金）までに参加申し込みをされた方のみにお送りしております。なお、電子版のサーキュラーは年会ウェブサイトに掲載します。

日本民俗学会第76回年会実行委員会

1. 大会概要

主催	一般社団法人 日本民俗学会
共催	國學院大學研究開発推進機構
期日	2024年10月26日（土）・27日（日）
会場	國學院大學 渋谷キャンパス （東京都渋谷区東4丁目10番28号）

2. 大会プログラム

10月26日（土）	公開シンポジウム・授賞式・総会・懇親会
11：30～	受付開始（学術メディアセンター（AMC）1階）
12：30～15：30	公開シンポジウム（学術メディアセンター（AMC）1階 常磐松ホール） 「祭り・芸能をめぐる現代的課題」
16：00～17：50	研究奨励賞授賞式、会員総会 （学術メディアセンター（AMC）1階 常磐松ホール）
18：00～20：00	懇親会（若木タワー 18階 有栖川宮記念ホール）

10月27日（日）	研究発表
9：00～	受付開始（学術メディアセンター（AMC）1階）
9：30～12：00	研究発表（3号館3、4階）
12：00～13：00	休憩
13：00～17：00	研究発表（3号館3、4階）

※プログラム内容は変更となる場合があります。

※開始・終了時刻はいずれも現時点での予定です。発表プログラムは9月下旬に参加等申込者に送付する予定の第3回サーキュラーでお知らせいたします。

※今年度の年会は、プレシンポジウムおよび見学会を企画しておりません。

※実行委員会では宿泊等の斡旋は行いません。

会場アクセス

最寄駅 渋谷駅（JR・東京メトロ・東急・京王線 各線）

最寄駅より

- ・徒歩の場合 約15分 下記の地図をご参照ください
- ・都営バス利用の場合 渋谷駅東口54番のりば「学03」系統
「日赤医療センター前」行乗車
乗車時間約10分「国学院大学前」停留所 下車 徒歩0分



※アクセスの詳細は、国学院大学・東京都交通局のウェブサイトもご参照ください。

国学院大学 — アクセス <https://www.kokugakuin.ac.jp/access>

東京都交通局 — 渋谷駅 <https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/bus/noriba/shibuya.html>



国学院大学 — アクセス



東京都交通局 — 渋谷駅

3. 参加費の納入方法

(1) 納入方法と期限

合計金額等の必要事項をご確認のうえ、下記の「ゆうちょ銀行」総合口座にお振り込みください。
払込手数料につきましては、ご負担願います。

必ず年会申込時の学会に届けている本人氏名でお振り込みください。

【口座番号】記号：10970 番号：26179091

【加入者名】日本民俗学会年会実行委員会

①ゆうちょ銀行のATMからの振込の場合

ゆうちょ銀行のキャッシュカードまたは通帳が必要です。

※ATMの操作で振込依頼人を変更できますので、口座名義の氏名と学会に届けている氏名が異なる場合は、必ず学会に届けている本人氏名にご変更ください。

②ゆうちょ銀行の窓口からの振込の場合

「電信払込み請求書・電信振替請求書」にご記入の上、窓口でお振込みください。ゆうちょ銀行の口座をお持ちでない方でも送金できます。

③他の金融機関からの振込の場合（ATM、窓口、インターネットバンキング）

他の金融機関からゆうちょ銀行口座への振込は、以下の振込用の店名・預金種目・口座番号が必要です（上記の記号（5桁）・番号（8桁）では、振り込むことができません）。

銀行名：ゆうちょ銀行

金融機関コード：9900

店番：098

預金種目：普通（または貯蓄）※預金種目は「普通」「貯蓄」のいずれでも振込可能です。

店名：〇九八店（ゼロキュウハチ店）

口座番号：2617909

- ・近年、犯罪や不正防止の観点から、団体名義での新規口座開設が難しい状況です。76回年会においても、ゆうちょ銀行の振替口座の開設手続きを進めましたが、審査で却下となりました。そのため、従来通りの郵便局の払込取扱票（青色）を用いての納入ができません。
- ・年会参加費・懇親会参加費の納入期限は9月30日（月）です。納入期限後の納入は受け付けません。懇親会については、この日までに未納の場合には、申込みを取り消させていただきます。
- ・研究発表を行うには「期日までの年会参加費の納入」ならびに「2024年5月末日時点で2024年度の日本民俗学会の年会費が完納されていること」が条件です。いずれかまたは両方を満たさない場合、発表辞退として取り扱う定めです。十分にご注意ください。
- ・年会参加費の納入期限後のお支払いは当日受付で、当日料金にて申し受けます。またその場合には、名札の事前用意や発表要旨集の置き置き等はいたしません。
- ・自然災害等の不可抗力によって年会が中止となった場合にも参加費の全額返金はいたしかねます。

（2）参加費

年会参加費は第1回サーキュラーでの告知の通り、次の表のように定めます。払い込み期限は**9月30日（月）**です。これ以降の年会参加費は、会場にて当日料金をお支払いください。

- ・非会員の方の年会参加は、一般・学生ともに当日受付のみ申し受けます。
- ・学生の参加は、会員・非会員を問わず、年会当日、学生証を提示した方に適用します。
- ・当日、会場での弁当の販売はいたしませんので、各自でご用意ください。渋谷駅から会場近辺にはコンビニエンスストア、スーパー、飲食店があります。大学内の学生食堂は、土曜日のみ営業しております（日曜日は休業）。

年会参加費	前払い	当日
会 員 (一般)	2,000円	3,000円
会 員 (学生)	—	無料
非会員 (一般)	—	3,000円
非会員 (学生)	—	無料
懇親会参加費	前払い	
会 員 (一般)	5,000円	
会 員 (学生)	2,500円	

※懇親会は前払いのみ、非会員は参加できません。

懇親会場の収容定員に限りがありますので、懇親会の参加は事前にお申込の上、参加費を前払いしていただいた方に限らせていただきます。また、参加者多数の場合は申込者の先着順となり、参加をお断わりさせていただく場合もあります。

4. 要旨集印刷版の購入方法

参加申し込み時に要旨集印刷版の購入を希望された方は、当日会場の特設販売所にてご購入ください。1部1,000円で、当日販売のみです。郵送等の対応はいたしませんので、ご了承ください。

5. 発表要旨の提出

一般発表、グループ発表、課題セッションに申し込まれた方は、以下の要領で発表題目を正式登録のうえ、発表要旨の原稿を実行委員会事務局要旨受付担当に提出してください。お預かりした要旨は電子版の要旨集（PDFファイル）にて公開します。また、事前に申し込まれた方に当日配付する有料の印刷版の要旨集に掲載いたします。

発表内容は未発表のものに限ります。重複発表が判明した場合には、参加費の納入いかにかわらず、発表をお断りします。

(1) 題目・要旨提出の概要

提出期限 8月31日(土) 必着

※期限までに発表題目及び要旨が提出されなかった場合は、発表辞退とみなし、発表できません。

発表題目の登録

年会ウェブサイトより「発表題目入力・発表要旨提出フォーム」にアクセスし、表示に従って、①氏名、②ふりがな、③メールアドレス、④発表題目の順で入力してください。要旨のデータファイル（PDF）は、フォームに添付して提出してください。このフォームに入力いただいた内容を、最終確定版としまして、第3回サーキュラーに掲載いたします（発表申込時に入力された題目と、発表題目入力・発表要旨提出フォームに入力された題目が異なる場合、後者を正式な題目といたします）。

発表題目入力・発表要旨提出フォーム <https://ws.formzu.net/dist/S146695158>

※第76回年会ウェブサイト(<https://www.nenkai76.fsjnet.jp>)からも入力できます

グループ発表要旨の提出

グループ発表の代表者は、個別の「研究発表要旨」とは別に、グループ発表全体の要旨（グループ発表要旨）をご提出ください。この執筆要領、提出方法等は全て個人発表の方法に準じます。

課題セッションの発表要旨の提出

年会実行委員会が提示した①列島文化をどうとらえるか、②「死」をめぐる民俗、③現代世相と民俗、④地域史と文化財の4つの中から選んだ課題（テーマ）についての発表要旨をご提出ください。この執筆要領、提出方法等は全て個人発表の方法に準じます。

（2）発表要旨の執筆要領

発表要旨は以下の要領に従ってご用意ください。不明の場合は年会実行委員会までメールでお問い合わせください。

- ①要旨のファイル形式はPDFファイルのみとします。
- ②ページ設定はA4縦長1頁とし冒頭に年会ウェブサイトの「発表題目入力・発表要旨提出フォーム」に登録したものと、同じ正題、副題、氏名及び所属を明記してください。
- ③要旨集印刷の都合上、上下左右に12.7mm以上の余白を設定してください。
- ④提出されましたPDFファイルをそのままwebサイトに掲載し、要旨集に印刷いたします。完成原稿をご提出ください。PDFファイル縦長A4の用紙1枚に収めていただけましたら、使用フォント・字数行数の設定・写真や図版の使用等に制限はありません。
- ⑤web公開版はカラーが反映されますが、印刷版は白黒での掲載となります。ご了承ください。

6. 当日の発表の進め方について

- ・個人発表および課題セッションは発表20分・質疑応答5分・移動5分を1ユニットとします。グループ発表の時間枠は120分とし、その配分は代表者にお任せします。発表時間の超過が生じないように、ご協力をお願いいたします。
- ・個人発表および課題セッションにつきましては、会場教室に座長とタイムキーパー（ベル係）を実行委員会より手配します。グループ発表につきましては、座長、タイムキーパーともに手配しません。
- ・レジュメを配布する場合、事前に各発表者が印刷したものを持参してください。実行委員会では印刷を承っておりません。またステープラー等の貸出も行っておりません。
- ・聴講者に配布するレジュメは、各会場入り口付近に長机を用意しますので、開始後はそちらに配置いたします。発表終了後もそのままにさせていただいてかまいませんが、会期後は処分いたします。
- ・発表会場の各教室には、一律に以下の設備を用意します。
 - ①HDMIケーブル
 - ②備え付けプロジェクターあるいはモニター
- ・PC使用の場合は各自でご持参ください。お手持ちのPCに①HDMIの接続端子があるかご確認ください。もしくは①HDMIに接続するアダプターをご用意ください。
- ・設置されている機材は動画や音声の出力にあまり適していない会場もあります。
- ・会場ではeduroamを用いたwifi接続が使用可能ですが、通信の安定性につきましては実行委員会では保証いたしません。オンライン環境を前提としたプレゼンテーションは各自の責任でお願いいたします。

たします。

7. 会場託児室の利用とその他託児サービスの費用補助について

会場託児室とその他託児サービスの費用補助には、登録が必要です。

申込期限は8月31日(土)です。

託児室・託児費用補助申込オンラインフォーム

<https://forms.gle/PDMMhv5xt45DwXVs8>



※第76回年会ウェブサイト (<https://www.nenkai76.fsjnet.jp>) から入力できます。

本年会では國學院大學3号館に託児室を開設予定です。保育は外部の業者へ委託します。保育業者と、託児室の金額および補助金額等の詳細については、利用登録者へ個別にご案内します。

8. 書籍の販売・頒布と研究活動等情報提供について

本年会では10月26日(土)～27日(日)の2日間、書籍販売・頒布、研究活動等情報提供ブースを設置します。出展を希望される個人もしくは団体は、下記の第76回年会ウェブサイトのフォームよりお申し込みください。

- ・書籍販売・頒布ブースにお申し込みいただけるのは、出版社のほか、会員個人もしくは会員の所属する団体です。書籍や学会誌、報告書のほか、会員に資するものであれば販売・頒布いただけます。出展は無料です。
- ・ブースの数には限りがありますので、申し込みが多数の場合はご辞退いただく場合があります。

書籍販売・頒布会場

会場は学術メディアセンター (AMC) 1階 多目的ホールです。

申し込み締切 8月31日(土)

書籍販売・頒布申し込みフォーム

<https://forms.gle/BAU9MbMN65pfuxT3A>



- ・お申し込みいただいた方には、8月31日(土)申し込み締切後に「日本民俗学会第76回年会書籍販売・頒布の手引き」をお送りします。

研究活動等情報提供について

- ・書籍販売・頒布会場には、年会参加者・会員などが民俗学関連研究の活動についての情報提供を目的にチラシ・パンフレットなどをおいて配布できるスペースを設けます。当日にチラシ・パンフレット類を置いて、持ち帰り自由とする場合は、事前申込みは不要ですが、その他の研究情報等の提供を希望する場合は、「書籍販売・頒布」と同じフォームから事前にお申し込みください。

9. 広告掲載の希望

発表要旨集への広告掲載を希望される方は、8月7日(水)までに年会実行委員会事務局宛にメールで詳細をお問い合わせください(メールの件名は、「広告掲載の問い合わせ」としてください)。

10. 公開シンポジウムのご案内

祭り・芸能をめぐる現代的課題

趣 旨

日本民俗学は、民俗の現場から課題を立上げ、その課題についての伝承実態とその仕組み、各地の比較研究に基づく地域差やその事象の歴史的推移・変遷などを明らかにしてきた。ここには社会・文化の推移のなかで、「民俗」とは何かという根源的な課題も存在するが、研究の目的については、現代もこれをもち続けている。

研究の基本は民俗の現場にあることから、今回のシンポジウムでは各地でその継承への取り組みが行われている祭り・芸能に焦点をあて、その現場がどのような課題を抱えているのか、論点の所在を明らかにすることを目的としたい。このことは一方では、現代社会が抱えている諸課題が、その祭り・芸能に映し出されているともいえる。たとえば従来、その斎行者が男性だけに限定されていた祭り・芸能において、女性参加を認めたり、促進したりしようという動きは、男女が自らの意思によって参画できる社会の実現、ジェンダー差の解消など現代社会が求める社会像の実現希求が映し出されているといえることができる。

祭り・芸能の現場には、このように当事者が内部から今後の継承等にむけた取り組みと、社会状況の反映による取り組み課題がいくつもあることが予測でき、シンポジウムではこうした動向を研究論点として確認し、提示したい。

コーディネーター：小林 稔（千葉県／國學院大學観光まちづくり学部教授）
鈴木 明子（東京都／國學院大學文学部兼任講師）
八木橋伸浩（東京都／玉川大学名誉教授）

パネリスト1：櫻井弘人（長野県／國學院大學文学部兼任講師）

報告タイトル「南信州における女性参加の実情と課題」

パネリスト2：石垣 悟（千葉県／國學院大學観光まちづくり学部准教授）

報告タイトル「祭りのなかの『子どもの祭り』」

パネリスト3：矢島妙子（東京都／明治大学 法と社会科学研究所 客員研究員）

報告タイトル「祭り・イベント・芸能とツーリズム」

コメンテーター1：須永 敬（福岡県／九州産業大学国際文化学部教授）

コメンテーター2：関沢まゆみ（神奈川県／国立歴史民俗博物館教授）

コメンテーター3：八木 透（京都府／佛教大学歴史学部教授）

11. 今後のスケジュール

- 8月7日（水） ・ 要旨集広告掲載のお問い合わせ期限
- 8月31日（土） ・ 発表要旨提出期限
・ 書籍販売・頒布と研究活動等情報提供申込期限
・ 託児希望申込期限
- 9月下旬 ・ 第3回サーキュラー発送予定（参加・発表申込の方のみ）
内容：会場案内、発表要領、各発表プログラムほか
- 9月30日（月） ・ 年会参加費・懇親会参加費納入期限
〈年会当日〉
- 10月26日（土） 公開シンポジウム、研究奨励賞授賞式、会員総会、懇親会
- 10月27日（日） 研究発表（個人、グループ、課題セッション）

第76回年会実行委員会事務局

〒150-8440 東京都渋谷区東4-10-28
國學院大學文学部 1108 研究室気付
日本民俗学会第76回年会実行委員会事務局
e-mail: nenkai@fsjnet.jp
※お問い合わせはe-mailをご利用ください。
